

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 八王子学園八王子中学・高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒193-0931
東京都八王子市台町4-35-1
Website : http://www.hachioji.ed.jp/

児童生徒数：男子 811 名 女子 883 名 合計 1694 名
児童・生徒の年齢 12 歳～ 18 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

長期交換留学生の受け入れ（継続）

- 実施時期 平成24年4月1日～平成25年3月31日

- 事業形態 交換留学の団体からの依頼など

- 目的・目標 学生の国際交流・相互理解・語学力の向上

- 概要
 - ① スポーツ留学生を受け入れ、クラブ活動では全国レベルでの活躍を見せつつ、校内での一般授業および日本語授業をこなしている。
セネガル男子学生2名 男子バスケットボール部（インターハイ出場）

 - ② 交換留学団体（AFS）を通じ、以下生徒を各約1年間受け入れた。本校での一般授業を一般生徒と共に受講するほか、留学生を対象とした日本語授業を設け、日本語向上を促した。学校行事やクラブ活動など学校生活全般にわたり日本文化への理解のサポートをし、一般生徒との国際交流を活発に行った。
フィンランド 男子学生1名

○ ホームステイ（継続）

- 実施時期 平成24年7月下旬～平成24年8月中旬

- 事業形態 本校主催 アメリカ、およびオーストラリアでの短期語学研修

- 目的・目標 学生の国際交流・相互理解・語学力の向上

- 概要
 - ① 1・2年生生徒の希望者対象に、約3週間、アメリカ合衆国（コロラド州デンバー市）に訪問した。現地の学校との協力により、語学研修を受けながら近郊の家庭にホームステイをして、交流を深めた。休日には近隣の観光を行った。
20名参加

 - ② 英語コース生徒の希望者対象に、約3週間、オーストラリア（ブリスベン市郊外）に訪問した。現地の学校との協力により、語学研修を受けながら近郊の家庭にホームステイをして、交流を深めた。近隣の観光を行った。
5名参加

 - ③ 本校と姉妹校関係にあるドイツの学校を希望生徒と訪問し、現地で授業に参加や交流したり、ホームステイをしながら、交流を深めた。また

Wriezen市との交流でもあったためWriezen市長やベルリンでは在ドイツ日本大使との面会など、様々な場面で交流を深めていった。
訪問校 Evangelisches Johanniter-Gymnasium Wriezen 8名参加

○ 八王子国際交流フェスティバル参加（継続）

平成24年10月7日実施の八王子国際交流フェスティバルに国際交流団体の一つとして参加。多数の外国人や国際交流団体との交流実施。

○ ボランティア部による地域協力と国際協力（継続）

● 実施時期 平成24年4月1日～平成25年3月31日

● 事業形態 ボランティア部活動

● 他機関等との連携 地域諸施設、日本赤十字 東京都支部など

● 目的・目標 地域の児童・障害者・高齢者などとの交流を通し、正しい理解を深め、幅広い心の育成と手を差し伸べる行動力を付ける。また、発展途上国への正しい知識を得ながら問題点を克服できるよう、国際社会のあり方について考え行動する。

● 概要

① 手話・点字学習

② 近隣の保育園、重度障害児通所施設、知的障害者施設へ定期的に訪問し、室内外での介助ボランティア等を行った。老人保健施設へも訪問し、交流を深めた。

③ モンゴルのマンホールチルドレンへ物質支援

日本赤十字社東京都支部を通じて衣類の補助や宿泊施設と教育施設の建設補助を行った。

④ 使用済みプリペイドカードの回収

全校生徒に使用済みプリペイドカードの収集を呼びかけ、回収後はNPO団体へ送付し、タイやカンボジアの農村援助金としている。

⑤ その他、募金活動等も広く行っている。

○ その他

英語科、家庭科、地歴科、公民科など、各教科内での授業実践などでも、国際理解教育を幅広く行っている。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

■ 時間外活動の時間を使用

□ ユネスコクラブの活動として実施

□ その他（

）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（）